

# 令和6年度 第20回埼玉県障害者技能競技大会

## ＜ビルクリーニング事前公表課題＞

### ◎一般的な注意事項

#### [共通事項]

1. 課題は、課題1「カーペット床清掃」と課題2「弾性床清掃及び机上清掃」の2課題です。  
競技は、まず、課題1の「カーペット床清掃」を、2人の選手が同時に別々のコートを使用して競技を行い、選手全員の競技が終了した後、休憩をし、その後、課題2の「弾性床清掃及び机上清掃」を、同様に競技していきます。  
2. どちらの課題も、作業面積は16㎡（4m×4m）とし、幅木により区画しますので、幅木の上には壁があるものとして作業を行ってください。  
3. 作業場所にある机は、移動しないでください。また、課題の実施のため、椅子を机の上にあげる際は、安全に配慮した形で上にあげてください。  
4. 選手は競技に適した服装をしてください。  
5. 2課題で使用する資機材は、支給されたもの以外は使用できません。  
6. 各課題とも作業開始の指示は競技委員が行います。選手は、挙手又は「はじめます」と申告して、2（A・B）コート同時に競技を始めてください。競技が終了したら 挙手又は「終わりました」と申告してください。  
なお、始めと終わりの申告は、声を出すことが困難な場合は、挙手のみで構いません。  
また、「はじめます」「終わりました」の申告と、入退室の際の「失礼します」「失礼しました」以外は、競技中に声を出さないでください。  
7. 作業ごとの入退室を行なう際には、会釈（軽く挨拶や礼）をしてください。また、競技は2選手が同時に行いますので、入退室の挨拶等は同時にならないよう配慮してください。  
8. 2課題とも、標準作業時間が定められています。

課題1： 7分

## 課題2：10分

作業中に残り時間が2分となった時点で経過時間をお知らせします。

標準作業時間を超えても、作業は最後まで行っていただきますが、減点となります。

9. 競技採点は、作業準備、作業動作（手順）、仕様誤り、作業態度、作業時間の5面から審査し、加点方式により採点を行います。

### ◎課題1：カーペット床清掃

1. 床の材質は、繊維系の床面とします。
2. 作業は、掃除機によるカーペット床の吸塵作業です。
3. 床のゴミは、シュレッターで裁断した紙を50mℓ程度まいたものとします。
4. 選手は（資機材）掃除機を保管所から作業近くへ移動し、コードをはずし、プラグをコンセントに差し込み、始動点検を行います。
5. 作業中、掃除機本体は手で持って移動してください。
6. 清掃後、プラグを持ってコンセントから抜き取り、掃除機のコードを巻いて、もとの通りの保管場所に戻します。

### ◎課題2：弾性床清掃及び机上清掃

1. 床材質は、塩化ビニール系の弾性床面とします。
2. 作業は、ゴミ処理・床面の掃き・拭き作業及び机上拭きの作業です。
3. 床のゴミは「おがくず」とし50mℓ程度をまいたものとします。
4. 本課題で使用する資機材や消耗品は、作業カートに載せてありますので、不足するものがないかを点検して使用してください。
5. モップの柄は、長さが調節できるので、作業前に選手自身が操作しやすい長さに調節してください。
6. 乾式モップ用クロスは、選手自身が作業前に乾式モップヘッドに取り付けてください。

7. クロスを装着した乾式モップヘッドは作業カート上部、モップ柄は作業カートの所定の位置にそれぞれ競技前にセットしてください。

◎ 資機材一覧表

1. 各競技場に準備されているもの

(1) 課題1

| 品名    | 寸法又は規格             | 数量  | 備考 |
|-------|--------------------|-----|----|
| 真空掃除機 | ポット型リンレイRD エコ 2 型  | 1 台 |    |
| 机     | ビルクリーニング技能検定資機材に準拠 | 1 台 |    |
| イス    | パイプ式折りたたみ          | 1 脚 |    |
| ゴミ箱   | 角型                 | 1 個 |    |

(2) 課題2

| 品名        | 寸法又は規格                            | 数量  | 備考 |
|-----------|-----------------------------------|-----|----|
| 作業カート     | ビルクリーニング技能検定資機材に準拠                | 1 台 |    |
| 作業標示板     |                                   | 1 個 |    |
| ワンタッチモップ柄 | ワンタッチアルミ伸縮柄                       | 1 脚 |    |
| ラーグ（モップ房） | 260 g 白色                          | 1 個 |    |
| 小型ぼうき     | 30 cm幅用                           | 1 本 |    |
| 乾式モップヘッド  | 63 cm                             | 1 個 |    |
| 文化ちり取り    | ビルクリーニング技能検定資機材に準拠                | 1 個 |    |
| タオル       | 無地 水拭き用（青色） 1枚<br>無地 から拭き用（白色） 1枚 | 2枚  |    |

|          |                    |    |  |
|----------|--------------------|----|--|
| ダスタークロス  | 69 cm幅の不織布         | 1枚 |  |
| ビニール袋    | ゴミ箱用替袋             | 1枚 |  |
| つくえ<br>机 | ビルクリーニング技能検定資機材に準拠 | 1台 |  |
| イス       | パイプ式折りたたみ          | 1脚 |  |
| ゴミ箱      | 角型                 | 1個 |  |

## 2. 選手が持参するもの

| 品名       | 寸法又は規格   | 数量 | 備考 |
|----------|----------|----|----|
| 作業着（上・下） | 作業しやすいもの | 1着 |    |
| 作業帽又は三角巾 |          | 1個 |    |
| 作業靴      |          | 1足 |    |

(注意) 選手が持参するものは、上記のものに限るが、同一種類のものを予備として持参することは差し支えない。

課題1 カーペット床清掃（標準作業時間7分）

作業仕様

| 作業工程      | 作業方法   | 補足事項   | 備考   |
|-----------|--|--|--|
| 資機材の準備    | <ul style="list-style-type: none"> <li>作業に必要な資機材はすでに会場に準備されている（必要な資機材及び数量は資機材一覧表を参照のこと）。</li> <li>掃除機のウォンドと吸い込み口は、事前にホースにセットしてある。</li> <li>作業標示版は既に所定の位置に立ててある。</li> </ul>                         | 資機材が過不足無く準備されているか点検し、異常があれば申し出る。   | 資機材の点検終了後、係員の指示に従い所定の位置に立つ。  |
| 競技開始の挨拶   | 審査委員の始めの合図で所定の位置に立ち「始めます」と挨拶を行い、競技を開始する。   | 片手をあげ、一礼する。  | 作業開始を申告。声を出すことが困難な場合は挙手のみで構いません。   |
| 作業準備      | 掃除機を保管場所から作業場所の近くへ移動し、コードを外し、プラグをコンセントに差込み、始動点検を行う。  | 吸い込み口に手をあて、風量があるか点検する。   |  |
| 入室の挨拶     | 入り口にて、室内に向かって入室の挨拶を行う。   | 「失礼します」と一礼して入室する。  | 声を出すことが困難な場合は一礼のみで構いません。   |
| 吸塵作業（掃除機） | ①真空掃除機を使用し、外から入り口を吸塵した後、入室する。<br>②入り口より奥に向かって右幅木側・中央部・机の下へと順に作業を行う（室内での作業手順は、カーペット床作業手順のとおり）。<br>③ゴミ箱は移動して吸塵する。<br>④椅子を手前に引き出し、机の下での吸塵を行い、元にもどす。<br>⑤前進しながら吸塵作業をする。<br>⑥作業が終了したら掃除機を室内より出してプラグを抜く。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>入り口のゴミを踏まないように広めに足場を確保する。</li> <li>吸い込み口を床に強く押しつけない。</li> <li>掃除機本体は手で持って移動する。</li> <li>プラグを持って抜く。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>ゴミはシュレッターで裁断したものを50mℓ程度均等にまいてある。</li> <li>掃除機のコードを持って抜かない。</li> </ul> |
| 点検        | 指差し及び目視点検を行う。  | 資機材の忘れ、ゴミの取り残しがないか点検を  | 声を出さないこと。  |

|                     |   |                                |   |
|---------------------|---|--------------------------------|---|
|                     |   | おこな<br>行い、あれば処置する。             |   |
| 退室の挨拶<br>たいしつ あいさつ  | でぐち につない む たいしつ<br>出口にて室内に向かって退室の<br>あいさつ おこな<br>挨拶を行う。 | しつれい<br>「失礼しました」と一礼<br>して退室する。 | こゑ だ<br>声を出すことが困難な<br>場合は一礼のみで<br>かま<br>構いません。                              |
| 資機材の片付け<br>しきざい かたづ | そうじき<br>掃除機のコードを巻いて、掃除機<br>を保管場所に戻す。                    |                                |   |
| 終了挨拶<br>しゅうりょうあいさつ  | しよてい い ち た しゅうりょうあいさつ<br>所定の位置に立ち、終了挨拶を<br>おこな<br>行う。   | お など<br>「終わりました」等の<br>意思表示を行う。 | さぎょうしゅうりょう しんこく こゑ<br>作業終了を申告。声を<br>出すことが困難な場合は<br>きょしゅのみでかま<br>挙手のみで構いません。 |

## 課題2 弾性床清掃及び机上清掃（標準作業時間10分）

### 作業仕様 1－1（課題2）

| きぎょうこうてい<br>作業工程           | きぎょうほうほう<br>作業方法   | ほそくじこう<br>補足事項   | びこう<br>備考   |
|----------------------------|--|--|---|
| 資機材の準備<br>しきざい じゅんび        | <ul style="list-style-type: none"> <li>作業に必要な資機材はすでに作業カート上部に準備されている。（必要な資機材及び数量は資機材一覧表を参照のこと）</li> <li>①モップ柄の長さを調整し、作業カートの所定の場所にセットする。</li> <li>②ダスタークロスを乾式モップヘッドに装着し、作業カート上部に置く。</li> <li>③①及び②は事前に準備する。</li> </ul> | しきざい かふそくな じゅんび<br>資機材が過不足無く準備されているか点検し、異常があれば申し出る。                                      | しきざい てんけんしゅうりょうご<br>資機材の点検終了後、<br>かなりいん し じ しだが<br>係員の指示に従い、<br>しよてい い ち た<br>所定の位置に立つ。 |
| 競技開始の挨拶<br>きやうぎかいし あいさつ    | しよてい い ち た きやうぎいん<br>所定の位置に立ち、競技委員の<br>はじめの合図で「始めます」と挨拶<br>をおこな きやうぎ かいし<br>を行い、競技を開始する。   | かたて いちれい<br>片手をあげ、一礼する。  | さぎょうかいし しんこく こゑ<br>作業開始を申告。声を<br>出すことが困難な場合は<br>きょしゅのみでかま<br>挙手のみで構いません。                |
| 作業準備<br>さぎょうじゅんび           | <ul style="list-style-type: none"> <li>①作業カートを保管場所から作業場所の近くへ移動する。</li> <li>②所定の位置に作業標示板を立てる。</li> </ul>  |  |   |
| 入室の挨拶<br>にゅうしつ あいさつ        | い ぐち しつない む<br>入り口にて、室内に向かって<br>にゅうしつ あいさつ おこな<br>入室の挨拶を行う。  | しつれい<br>「失礼します」と一礼して入室する。  | こゑ だ<br>声を出すことが困難な<br>場合は一礼のみで<br>かま<br>構いません。  |
| イス上げと<br>ゴミ処理<br>(1)イスを上げる | <ul style="list-style-type: none"> <li>①作業前にイスを机の上にあげる。</li> <li>②ゴミ箱にセットされているビニ</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・机は動かさない。</li> <li>・イスは机の四隅からはみ出さないように</li> </ul> |   |

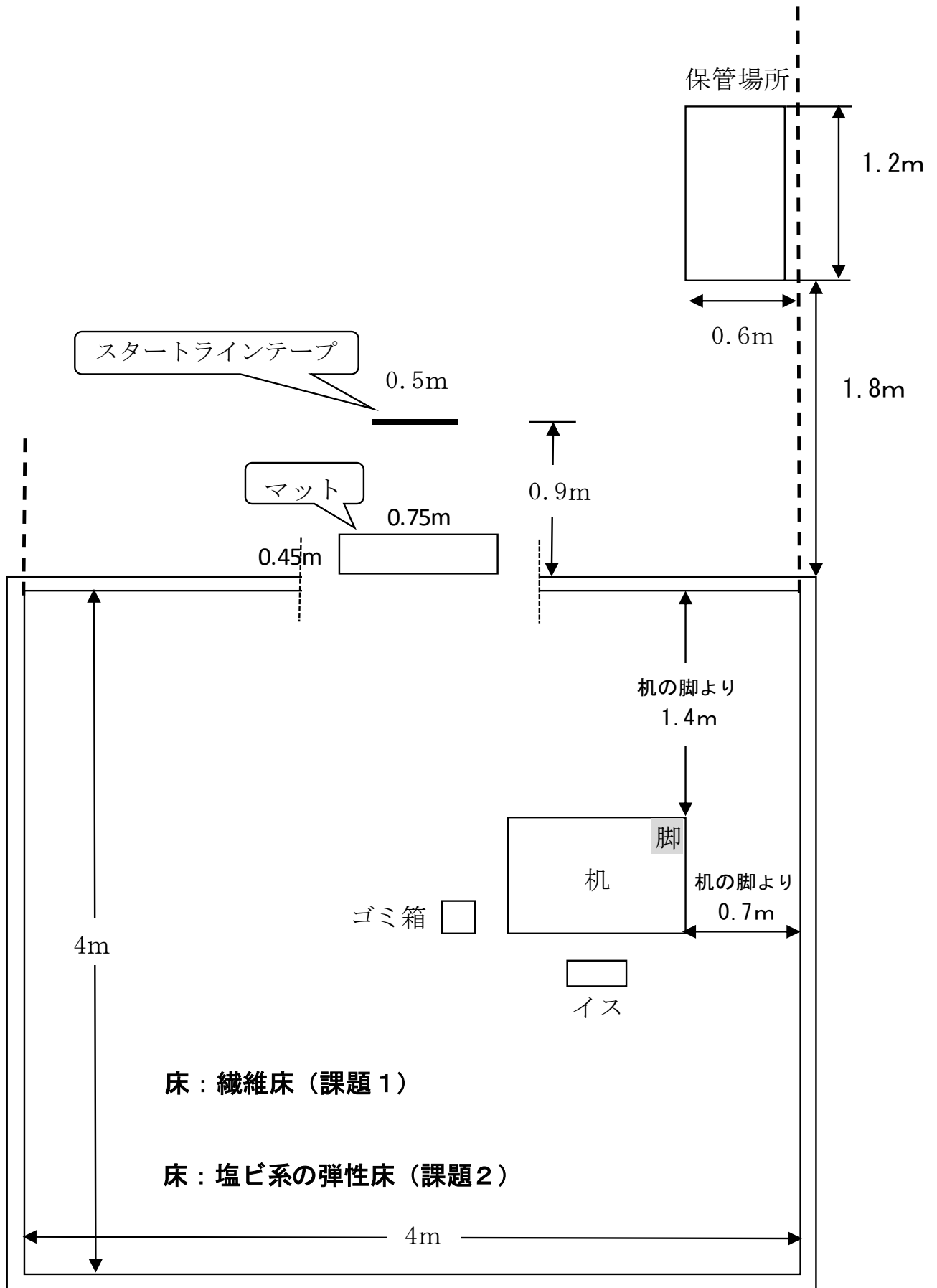
|                                    |   |   |  |
|------------------------------------|---|---|--|
| <p>(2) ゴミ回収</p> <p>(3) ゴミ袋のセット</p> | <p>ール袋を回収する。</p> <p>③回収したビニール袋を作業カートの袋の中に入れる。</p> <p>④ビニール袋の替袋を取り出し、ゴミ箱にセットする。</p> <p>⑤ゴミ箱を机の上に上げる。</p>   | <p>正しくのせる。</p> <p>・ビニール袋を正しくセットする。</p> <p>ゴミ箱は机から、はみ出さないように正しくのせる。</p>  |  |
| <p>除塵作業<br/>(乾式モップ)</p>            | <p>①入り口の養生マットの上で乾式モップヘッドを柄に装着し、外から入り口を除塵し、作業場所へ入る。</p> <p>②入り口より奥に向かって右幅木側・幅木側・机の下・中央部へと順に作業を行う(室内での作業手順は、乾式モップ作業手順のとおり)。</p> <p>③ゴミは前進しながら出口に向かって1箇所に集める。</p> <p>④ヘッドを柄から外す。</p> <p>⑤使用済みのダスタークロスをヘッドから外し、作業カートの袋の中に収納する。</p> <p>⑥柄とヘッドを作業カートに戻す。</p> <p>⑦小型ぼうきと文化ちり取りを使用し、集めたゴミを回収する。</p> <p>⑧ゴミの取り残しがないか点検する。</p> <p>⑨小型ぼうき、文化ちり取りを作業カートに戻す。</p> | <p>・入り口のゴミを踏まないように広めに足場を確保する。</p> <p>・柄の先端には親指を添える。</p> <p>・ヘッドの辺は広い方を先行させる(赤印をつけてある)。</p> <p>・ヘッドを床から離さない。</p> <p>・使用済みクロスは作業カートの袋の中に入れる。</p> <p>・ゴミの取り残しがある場合は、小型ぼうきと文化ちり取りを使用して回収する。</p> <p>・ヘッドは、作業カート上部にスポンジ面を上にして、邪魔にならない場所に置く。</p> | <p>・ゴミはおがくずを50ml程度均等にまいてあ</p> <p>る。</p> <p>・点検の際に声を出さないこと。</p> |

きぎょうしょう  
作業仕様 1 - 2 (課題2)

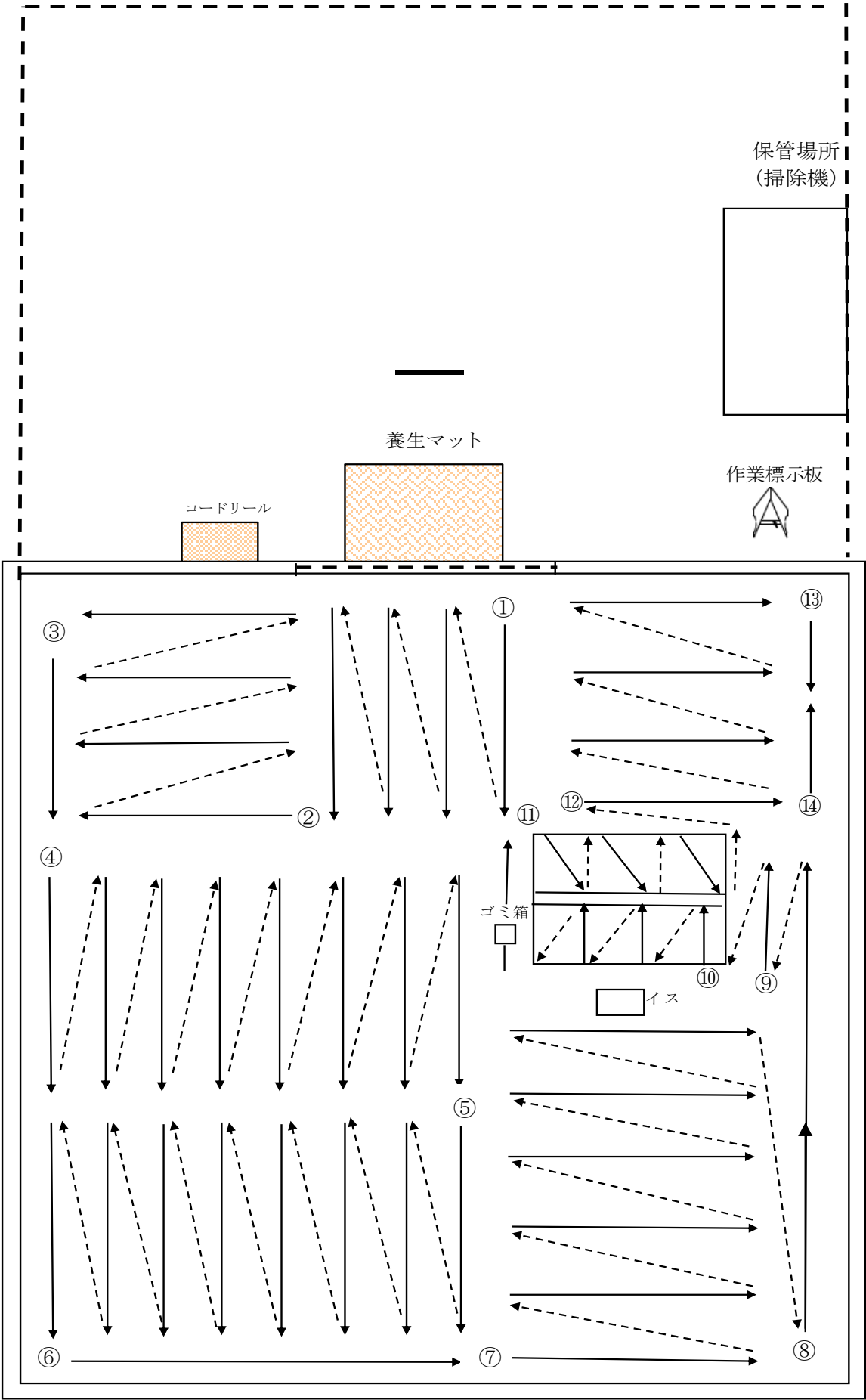
| きぎょうこうてい<br>作業工程           | きぎょうほうほう<br>作業方法   | ほそくじこう<br>補足事項  | びこう<br>備考                                      |
|----------------------------|--|---|--|
| みずぶききぎょう<br>水拭き作業<br>(モップ) | <p>①コート全面積を拭く。</p> <p>②幅木側、机の下、中央部の順に拭く（室内での作業手順は、水拭きモップ作業手順のとおり）</p> <p>③コーナー周り、机の足元は房糸に手を添えて拭く。</p> <p>④モップは適宜裏返し、モップ全体を使って拭く。</p> <p>⑤モップは横拭きとし、後退しながら拭く。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・拭き残し、拭きむらのないようにする。</li> <li>・横拭きは柄の先端に親指を添えるのを基本とする。</li> <li>・房糸が幅木、机の脚部に触れないようにする。</li> <li>・拭いたところを踏まないようにする。</li> </ul> |  |
| ごみばこ<br>ゴミ箱とイスを<br>下ろす     | あんぜん<br>安全に音を立てないように下ろす。   | あし<br>足の上に落とさないように注意する。   |  |
| きじょうふき<br>机上拭き             | <p>①青色のタオルを八折りにして持つ。</p> <p>②机の縁を含めて、四隅から中央へと行う。</p> <p>④横拭き・縦拭きを行う。</p> <p>⑤机の上を水拭きした後に白色のタオルでから拭きを行う。</p> <p>⑥水拭きと同様の手順で作業を行う。</p>                             | <p>タオルが汚れたらきれいな面を出して拭く。</p> <p>拭き残し、拭きむらのないようにする。</p>   | きじょうふき<br>机上拭き作業手順<br>さんしょう<br>参照。             |
| てんけん<br>点検                 | ゆびさ<br>指差し及び目視点検を行う。   | しきざい<br>資機材の忘れ、ゴミの取り残しなどの点検を行う。   | てんけん<br>点検の際に声をださないこと。                         |
| たいしつ<br>退室の挨拶              | でぐち<br>出口にて、室内に向かって退室の挨拶を行う。   | しつれい<br>「失礼しました」と一礼して退室する。  | こえ<br>声を出すことが困難な場合は一礼のみで構いません。                 |
| しきざい<br>資機材の片付け            | きぎょうひょうじばん<br>作業標示板を作業カートに収納し、作業カートを保管場所に戻す。   |   |  |
| しゅうりょうあいさつ<br>終了挨拶         | しよてい<br>所定の位置に立ち、終了挨拶を行う。  | おわり<br>「終わりました」等の意思表示を行う。   | きぎょうしゅうりょう<br>作業終了を申告。声を出すことが困難な場合は挙手のみで構いません。 |



## 標準配置図(モデル)

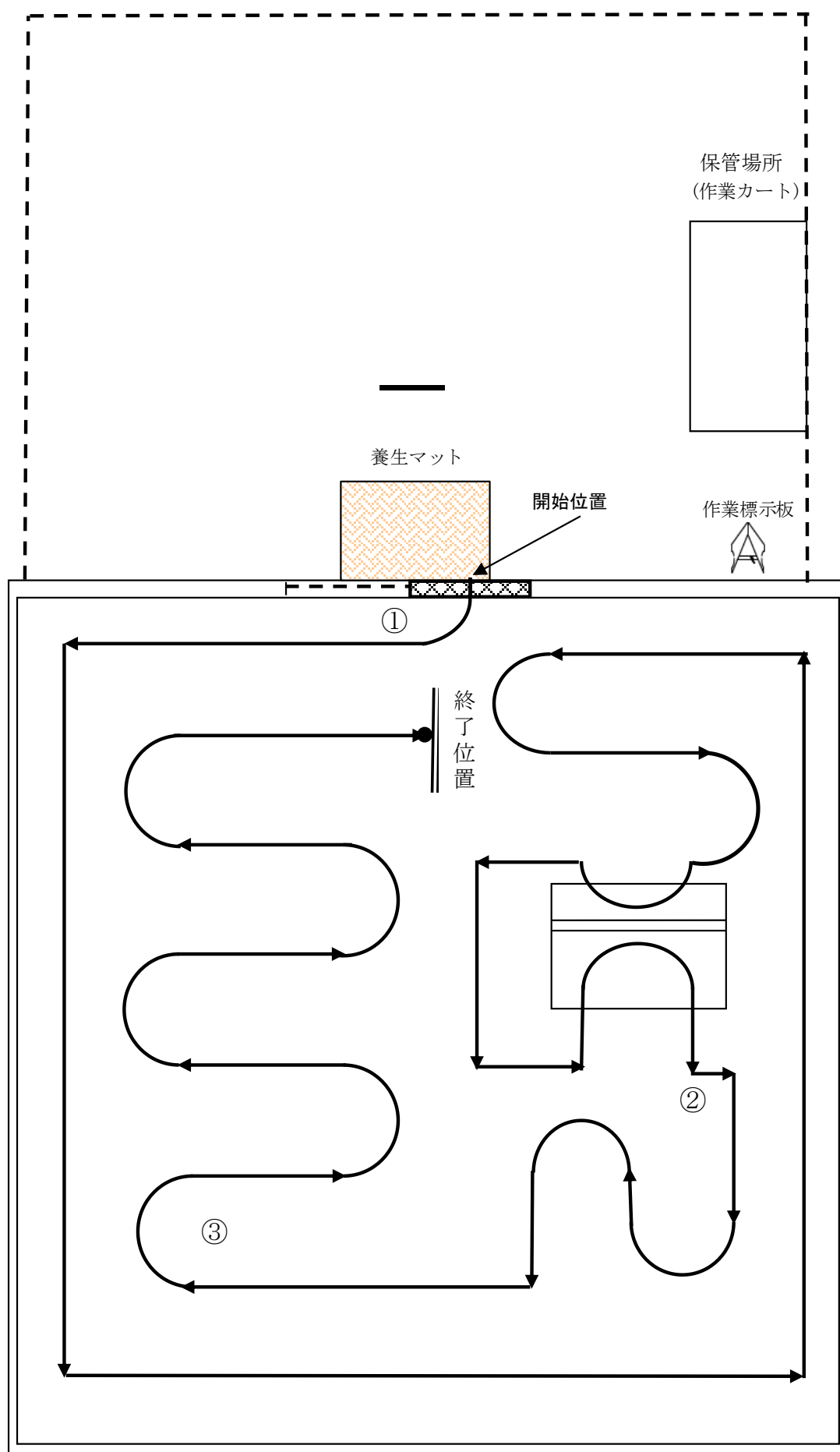


カーペット床作業手順



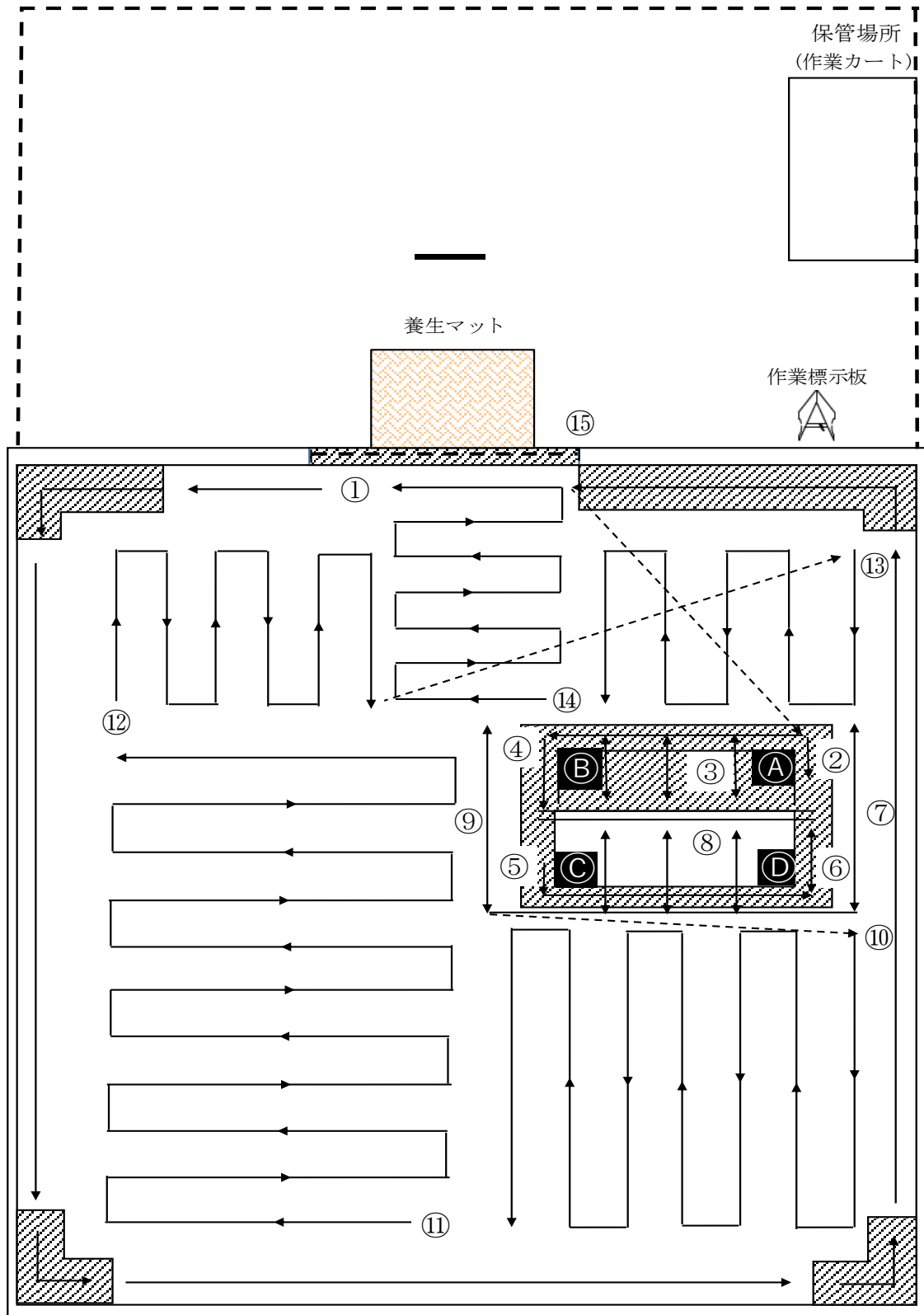
注：作業の進行①－⑭  
吸引回数を入れたものではありません。  
作業を一回の工程でできない場合は、真ん中で二度に分けても構いません。  
ゴミ箱の下を作業する際は、ゴミ箱を移動し、確実に吸引する。


## 乾式モップ作業手順



注：乾式モップのヘッドの振る回数ではありません

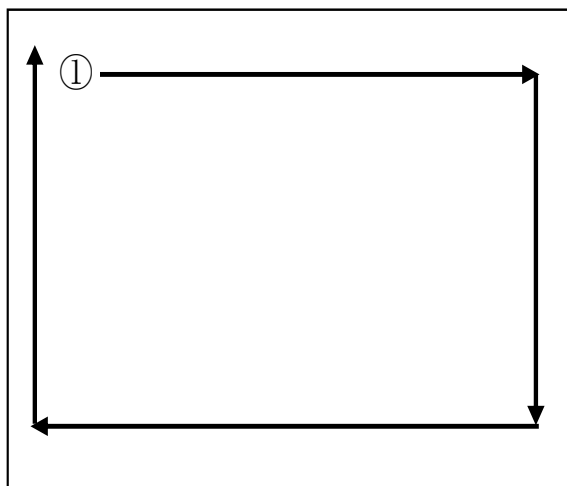
## 水拭きモップ作業手順



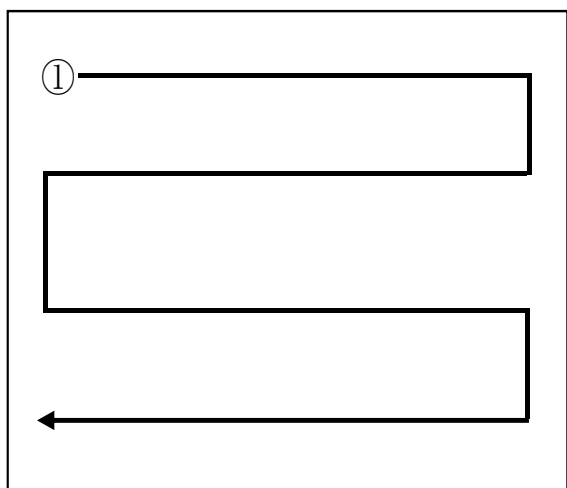
注：  印は手を添える箇所を示します。水拭き回数を入れたものではありません。

- ①幅木側を一周すること。(コーナーは手を添えます)
- ②④の足回りを手を添えて拭く
- ③机の下を手を添えて拭く
- ④～⑥⑧足、⑨足、⑩足の順に足回りを手を添えて拭く
- ⑦机の脇（壁側）を拭く
- ⑧机の下を手を添えずに拭く
- ⑨机の脇（入口側）を拭く
- ⑩～⑭スパンを決めて拭く
- ⑮入口を手を添えて拭く

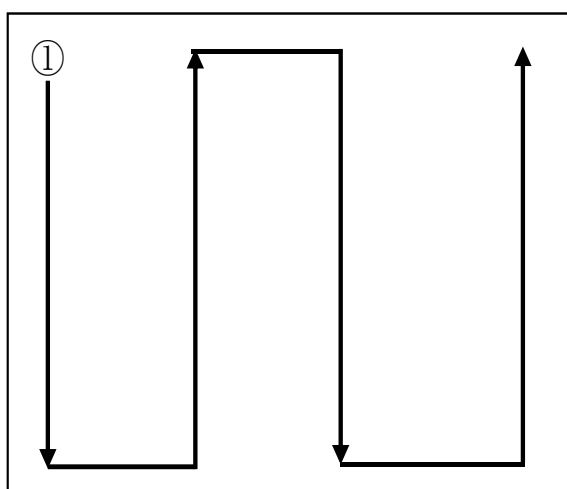
## 机上拭き作業手順



①四角く、縁にそって拭きます。  
(その際、テーブル、机の縁も拭きます。)



②横拭き：拭いていない中面を左右に拭きます。  
(このとき、拭きムラの無いように注意します。また、左右の動きにより、往復の回数が異なります。)



③縦拭き：拭き残しがないように中面を上下に拭きます。  
(このとき、拭きムラの無いように注意します。また、上下の動きにより往復回数は、異なります。)

④乾拭きも同じように行います。

注：作業手順は右手でタオルを持つ人の例になります。左手で持つ人の場合は、左右を逆にしても構いません。